次期府中市福祉計画の基本理念、基本の仕組み及び基本視点

参考資料

平成１５年に策定した府中市福祉計画において基本理念として掲げた「みんなでつくる、みんなの福祉」を継承するとともに、多様になる価値観や福祉へのニーズに対応するために、更なる市民・関係機関・事業者との協働を推進し、安心して暮らせる地域共生社会を目指すものです。

現　府中市福祉計画

基本理念

～人と人とが支え合い幸せを感じるまちを目指して～

みんなでつくる、みんなの福祉

基本視点

１安全で安心した暮らしを支える福祉の実現

住み慣れた地域で、安心かつ安定して暮らし続けることのできる仕組みや環境づくりを進めます。

また、一人ひとりの尊厳が尊重され、安心してその人らしい暮らしが実現し、誰もが障害や障壁を感じることなく暮らせる施策を推進します。

２いきいきと自立した暮らしを支える福祉の実現

あらゆる市民が、心身共に健やかに自立して暮らせるような地域社会の実現を図るとともに、その人らしい人生が確保され、生活の質が高められる福祉を目指します。

３　地域で支え合う福祉の実現

身近な地域社会において、人と人とのきずなを大切にしながら、市民自らが参画し、自発的に支え合い、様々な主体と協働して進める市民中心の福祉の実現を目指します。

４　協働・連携で進める福祉の実現

共同（地域）連帯の理念に基づき、市民や自治会・町会、NPO・ボランティア団体、福祉関係機関、教育機関、事業者及び行政が協働する地域社会の実現を目指すとともに、医療・福祉の多職種が連携した総合的・包括的な福祉の実現を目指します。

福祉施策の考え方

- 「自助」「互助」「共助」「公助」
- 地域包括ケアの実現
- 市民・関係機関・事業者との協働
- セーフティネット（安全網）の充実

次期　府中市福祉計画（案）

基本理念

～つながりあい、支え合い、安全で安心して暮らせるまちの実現へ～

みんなでつくる、みんなの福祉

基本の仕組み

1. 新たな支え合いと包括的な支援体制の構築
2. 安全・安心の仕組みづくり
3. 協働・連携の仕組みづくり
4. 福祉分野と他分野の連携

基本視点

１　健やかでその人らしい暮らしを支える福祉の実現

あらゆる市民が、心身ともに健やかで、その人らしく、自立して、暮らせる地域社会と福祉の実現を図ります。

２　身近な地域でつながり、支え合う福祉の実現

身近な地域社会で、様々な市民が主体的につながり、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて参画し、支え合う福祉の実現を図ります。

３　市民・関係機関・事業者の協働で進める福祉の実現

市民協働の理念に基づき、引き続き、市民と自治会・町会、NPO・ボランティア団体、関係機関や事業者、行政が協働する、総合的で包括的な福祉の実現を目指します。

４　いつでも安心して暮らせる福祉の実現

住み慣れた地域で、その人の尊厳が尊重され、安心した暮らしが実現できる仕組みや環境づくりを進めるとともに、誰もが障害や障壁を感じることなく暮らすことができる視点から施策を推進します。

福祉施策の考え方

- 尊厳の保持（自己決定の尊重）
- 身近な地域における課題解決力の強化
- 多様な主体による協働・連携（自助・互助・共助・公助）